2019年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- Ⅱ マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- □ スポーツを通じたインクルーシブな社会(共生社会)の構築
- ! Ⅳ 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成!
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県 • 政令市名【北九州市】

学校名【北九州市立牧山小学校】

1実践テーマ	Ⅰ·Ⅲ·Ⅲ·Ⅳ·Ⅴ(複数選択可)
2実施対象者	学校の実施:対象学年:5,6年、特別支援学級(情緒)・クラス
	: 5クラス・人数: 94
(学年·人数)	
3展開の形式	(1)学校における活動 次の5つのうちから選択しのをつけてください [複数選
	択可】
	①教科名(総合的な学習の時間)
	②行事名()
	③ その他 ()
	(2) 地域における活動
	① イベント名()
	② その他 ()
4 目標	グローバルマナーとおもてなしの心を学ぶことで、自己を確 立しつつ、他者を受容して、臆せずに積極的に相互受容しよう
(ねらい)	立しノス、他自を支替して、帰せずに積極的に相互支替しよう とする心情を育てる。
	「おもてなしの心」で学んだ相手を思いやる心をもとにして、
	ボッチャ競技について調べたり、体験をしたりして、相手の気持
	ちを考えながら誰とでも仲良くする心地よさを味合う。
5 取組内容	(1) 講演「グローバルマナーとおもてなしの心」を聴くこと
	で、第一印象を高めたり、コミュニケーションを高めたりす
	る方法を学ぶ。
	(2) 「ボッチャ」競技について調べよう。
	・ ボッチャについて調べよう
	(3) ボッチャというゲームをやってみよう
	調べたルールで「ボッチャ」をやってみよう
	(4) ボッチャの楽しさを、交流学級の友達に伝えよう。
	伝えるために、資料を作ろう
	どのようにしたら、うまく伝わるかな。話し合おう
	• ポスター、紙芝居、役割演技等
	• 伝えよう
	質問に答えられるように、準備をしておこう。
	みんなでゲームをやってみよう

	,
	Control of the contro
6 主な成果	 講演で学んだことを生かして、相手意識をもって、人と接するようになった。 相手に伝えるためには、どのようにしたらよいのか、相手意識をもち、資料などを準備することができた。 相手意識をもちながら、ボッチャ競技に取り組んだ。そのことで、お互いに楽しみながらスポーツを行うには、「思いやりの心」が大切なことを学んだ。
7実践において 工夫した点 (事業の特色)	 まず、講演で「グローバルマナーとおもてなしの心」を学ぶことで、思いやりの心をもって、人と接したり、ボッチャ競技をしたりすることができるようにした。 交流学級の友達にボッチャ競技を教えることを通して、伝えることの大切さを学べるようにした。
8主な課題等	交流学級の友達と競技を通して、理解しあうことができた。 その輪をもっと多くの友達に広げていくことができるとよい。
9来年度以降の 実施予定	来年度は、ボッチャ競技を全校に広められるようにしていき たい。